

静岡いいきもの散策マップ

つたの細道コース

A horizontal scale bar with tick marks at 0 and 800m.



薦の細道（つたのほそみち）

宇津ノ谷峠を越える道では最も古く、平安時代から豊臣秀吉が旧東海道を開くまでの約700年間にわたり、官道として利用された。よく知られるようになったのは、平安時代前期の文学作品『伊勢物語』が書かれたときから「薦の細道」とよばれるようになったのは江戸時代からである。

明治のトンネル

今の「レンガのトンネル」は、明治37年に作りかえられたもので、現在国の登録文化財に認定されています。

旧東海道（きゅうとうかいどう）

天正 8 年（1581 年）豊臣秀吉が小田原征伐のときに大軍を通すために開拓されたものといわれている。江戸時代に入り正式の東海道として参勤交代の大名などをはじめとして、明治初期まで通行されていた。

木和田川堰堤（きわだがわえんてい）

明治43年の大災害をきっかけに、土砂災害防止のため、明治から大正初期に、ロックヒルダム（巨石積堰堤）工法が用いられ、その形状から兜堰堤（かぶとえんてい）8基が設置され、全国的にも貴重な歴史的砂防施設として、国の有形文化財に指定されている

